

愛知大学図書館貴重書紹介
COLLECTION

(貴重書) 全英記録文書所在総目録

National inventory of documentary sources in the United Kingdom and Ireland

[資料形態: マイクロフィッシュ]

文学部教授
伊東 利勝

イギリスにかかわる研究には、ロンドンにあるPublic Record OfficeやBritish Libraryをはじめ、地方の文書館、大学図書館、国公立の図書館などに所蔵されている古文書、

記録文書、写本、稿本等の歴史的文書が欠かせない。本コレクションは、イギリス国内48の機関で作成された史料目録類 (Finding Aids) と、それらの総索引 (Index) を新たに作成し、両者をリンクさせたものから成っている。

含まれるのは本国の文学や芸術の歴史に関する文書だけではなく。これが植民地としていた南アジア、東南アジア、さらには中国、日本の文学、文化、政治・法制・経済・社会に関するものもある。いわばイギリスを中心とした全領域にかかわる研究にとって欠かすことができない重要な史料群の見取図といってよかろう。



手書きの古文書、記録文書や稿本などは、もちろん刊行されておらず、かつその存在すら一般に知られていない。従ってこれまでは手間と時間と費用をつぎ込み、現地の文書館に足を運び、そこで探索することなしには利用できなかった。

一部の機関では、webによる文書の検索が可能であるが、まだ十分でない。総索引からはいって史料目録類にたどり着き、請求番号さえわかれば日本から依頼して、その複写を取り寄せることができる。このコレクションにより、イギリス各地に散在する、本国のみならずこれが統治した地域に関する史料が身近に存在するようになったといっても過言ではない。

豊橋書庫MF025:N57:lx

【名古屋図書館】トピックス



本の汚損・破損について

ABOUT THE DAMAGE OF THE BOOK

いつも図書館を利用いただきありがとうございます！

普段、皆さんはどのような目的で図書館の本を借りるのでしょうか？

授業の課題や予習・復習の資料集め、就活・資格取得・趣味・娯楽の情報収集など、様々な目的で借りているかと思います。

もし、借りた本の読みたいページが汚れていたり破れていたりしたら嫌ですね。

そこで、利用のマナーの一つである本の汚損・破損について知ってほしいことを紹介します。

本が汚れたり破れたりしてしまったら…

もし図書館で借りた本を汚してしまったり、破ってしまったり、

水で濡らしてしまったりしたら、こっそり自動貸出返却装置で返却するのではなく、図書館のカウンターに来て教えてください。また、紛失してしまった場合もカウンターに来て教えてください。

故意に本を汚損・破損・紛失していないのであれば、カウンターで怒ることはありませんよ。

図書館の本に付箋を貼ると…

皆さんの中には、付箋を上手く使って勉強する方も多いかと思えます。

しかし、図書館の本に付箋を貼るのは止めてください。

図書館の本は見た目が古くなくても、経年劣化している場合があります。印字部分が付箋といっしょに剥がれることがあります。

また、新しい本であっても、付箋の粘着力で印字部分が剥がれてしまいます。

図書館の本は皆さんで共有して利用するものなので大切に扱ってください。

ご協力をお願いいたします。

